

概要版

これから先  
住んよがえびのにすいが！



おいたちの活動を  
まちづくりに生がすっど！



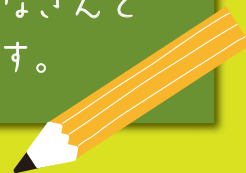
えびの  
みらい  
WORK  
BOOK

まだまだえびのん  
よかところをいっぱい  
アピールしたい。



この冊子は、「第5次えびの市総合計画－後期基本計画－」を  
紹介したものです。

これからのまちづくりの方向や取り組みを市民のみなさんと  
ともに学び、共有し、活用するためのワークブックです。



# 総合計画とは

総合計画とは、えびの市を将来「こんなまちにしていきたい」という姿を示したもので、みんなが住むえびの市のまちづくりの指針となる計画です。

福祉、教育、産業、環境などわたしたちの暮らしに必要な分野の具体的な取り組みが盛り込まれています。

将来のえびの市をより良いまちにしていきたいためには、市民、地域と行政が目標を共有し、力を合わせてまちづくりに取り組んでいくことが大切です。



## 計画の期間

総合計画後期基本計画の期間は、平成 29 年度から平成 33 年度の 5 年間です。将来目指すまちに向かって、この 5 年間でどんなことを進めていくかということを表しています。



## 計画の特徴は？

### 特徴 1

**市民の意見を反映した計画です。**

本計画の策定においては、市民のみならず市内企業へのアンケート調査、えびの市総合開発審議会による審議やパブリックコメントによる意見募集を実施しました。そこで寄せられた意見や提案をもとに、計画をまとめています。

### 特徴 2

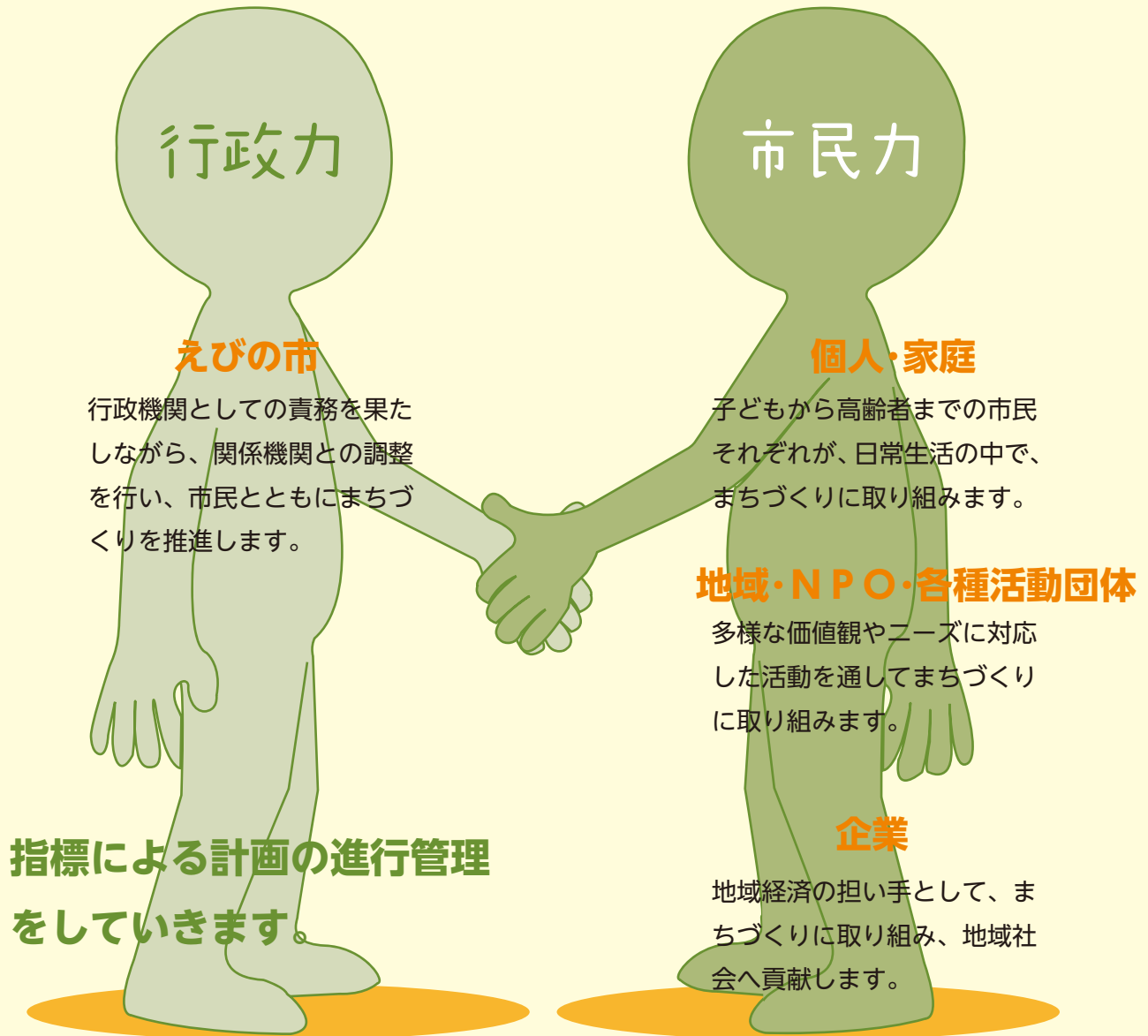
**目標指標を設定しています。**  
(数値目標)

この計画では、市はもとより市民・事業者などの地域の多様な担い手が日常生活の中で取り組むことのできるまちづくりとして、「目標指標 (数値目標)」を設定しています。各指標の達成状況を毎年確認することによって、まちづくりを着実に推進していきます。



## 市民のみならずとともにも...

計画の実現には、市民、地域、企業、団体、議会、行政が、それぞれの持つ力を発揮し、協働して取り組むことが重要です。



### TOPIC

#### ～えびの市自治基本条例前文～

えびの市は、雄大な霧島の山々と母なる川内川など美しい自然と広大な田園風景に囲まれたまちです。ここに、田の神さあをはじめ、地域ごとに特色のある伝統や文化、芸能を守り受け継いできた人々が暮らしてきました。

このかけがえのないえびの市を、市民が主体となり互いに支えあいながら、市民一人一人が幸せを実感できるまち、次世代を担う子どもたちが誇れるまちとして、引き継いでいかなければなりません。

そのためには、市民が互いに責任を担い、市政に市民の声が反映される協働のまちづくりが必要です。

私たちは、自らの地域を自らが築いていく地域社会の実現を目指し、ここにこの条例を定め、これですすんで実践していきます。

# 人口ビジョン・総合戦略の概要

## 人口ビジョンとは？

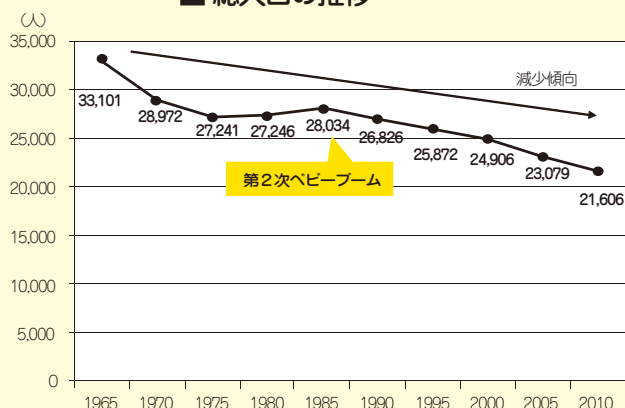
人口ビジョンは、えびの市が今後目指すべき方向性と人口の将来展望を示しています。これは、まち・ひと・しごと創生の実現に向け、総合戦略として効果的な方向性・施策を企画立案するための重要な基礎となることを認識し、策定されたものです。

## 総合戦略とは？

総合戦略とは、人口減少及び少子高齢化の進展に的確に対応し、将来にわたって持続可能な地域社会を維持するべく、国や県の基本的な考え方や方針を踏まえ、地域の実情に応じた今後5か年（平成27年度から平成31年度まで）の基本目標、施策方針、具体的事業などを提示したものです。

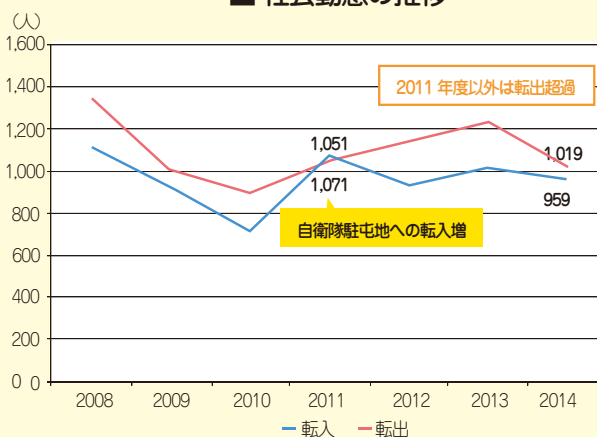
### 人口ビジョン：①人口の現状

■ 総人口の推移



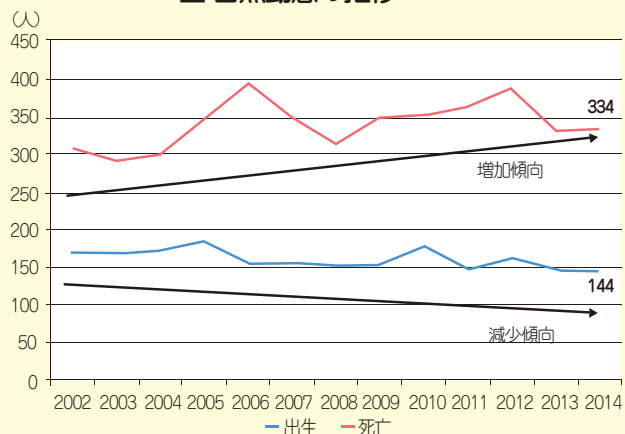
・1950年以降、総じて減少傾向が続いている

■ 社会動態の推移



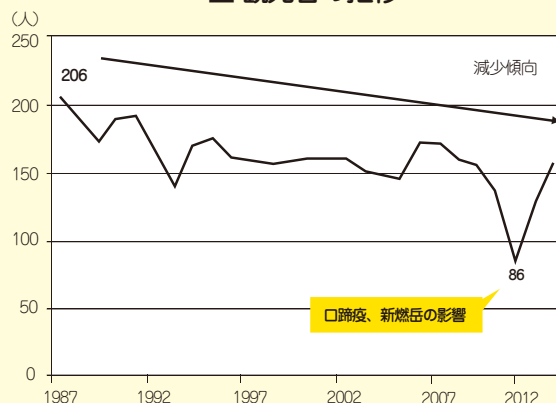
・転出が転入を上回る社会減が続く  
 ・10代や20代の若者が、進学や就職を機に市外へ流出  
 ・U・Jターンを含めた移住促進の施策等を行っていく必要がある

■ 自然動態の推移



・高齢化の影響等で、死亡数が出生数を上回り、自然減が続いている  
 ・出生数の増加に加え、女性人口の減少を食い止める必要がある

■ 観光客の推移



・市を訪れる観光客は、概ね減少傾向  
 ・交流人口の増加が、市の活性化に向けた課題の一つ

人口ビジョン、地域特性を踏まえ、課題、強みを抽出。それに伴い、4つの基本目標を設定しています。

# 総合戦略

## 課題1 人口の社会減 ▶ 進学・就職を機に、市外へ転出

- 強み**
- ①豊かな自然
  - ②第1次産業従事者が多い
  - ③交通の要衝
  - ④自衛隊のまち

### 基本目標1 多様な働き方が実現できる ふるさとづくり

#### 【基本的方向】

地域資源や地の利を生かした産業振興や企業誘致を行い、安定した雇用と働き方を創出する

#### 【数値目標】

| 指標    | 基準値              | 目標値        |
|-------|------------------|------------|
| 市内総生産 | 695億2,900万円(H24) | 704億円(H31) |

#### 【施策方針】

- 基幹産業である農林畜産業を維持・発展させる
  - ▶ 新規就農者・農業後継者の確保・育成
  - ▶ 農林畜産業 経営向上の支援
- 南九州の「へそ」という地の利を生かした企業誘致を進める
  - ▶ 企業誘致の推進
- 創業を含めた、地場産業支援を行う
  - ▶ 新規創業支援
  - ▶ 地場産業育成支援
- 人材マッチング等を通し、就職や転職を支援する
  - ▶ 企業との人材マッチング

## 課題3 人口の自然減 ▶ 出生数低下、女性人口の減少

- 強み**
- ①国・県と比べ、出生率が高い

### 基本目標3 希望をもって生涯設計できる ふるさとづくり

#### 【基本的方向】

出会い、結婚、妊娠、出産、子育てのライフステージに応じた切れ目のない支援を行う

#### 【数値目標】

| 指標  | 基準値       | 目標値       |
|-----|-----------|-----------|
| 出生数 | 131人(H26) | 157人(H31) |

#### 【施策方針】

- 出会いの場を提供し、婚活を推進する
  - ▶ 出会いや結婚に対する支援
- 子育てしやすい環境づくりを推進する
  - ▶ 妊娠・出産・育児の負担軽減
  - ▶ 安心して子育てできる環境の充実
  - ▶ 男女共同参画の推進
- 質の高い教育を行い、郷土を担う人材を育成する
  - ▶ 教育環境の充実

## 課題2 交流人口の伸び悩み ▶ 観光客の伸び悩み

- 強み**
- ①豊富な地域資源（自然、歴史遺産など）
  - ②国際交流、外国人留学生

### 基本目標2 人が集い 選ばれる ふるさとづくり

#### 【基本的方向】

えびの魅力を積極的に発信し、交流人口の増加や移住促進を図る

#### 【数値目標】

| 指標             | 基準値        | 目標値           |
|----------------|------------|---------------|
| 年間観光客数         | 122万人(H26) | 146万人(H31)    |
| 市の制度活用による移住世帯数 | 4世帯(H26)   | 120世帯(H27~31) |

#### 【施策方針】

- 地域資源を再認識の上、様々な方法による情報発信を行う
  - ▶ シティセールスの推進
- 観光振興や農家民泊・スポーツ合宿等を通じた交流人口増加を図る
  - ▶ 観光の振興
  - ▶ 体験型観光の充実、スポーツ合宿・イベント等誘致
- U・I・Jターン支援等による移住・定住の促進を図る
  - ▶ 移住・定住の推進

## 課題4 公共施設や商店街が分散 県都である宮崎市から遠い

- 強み**
- ①にしもろ定住自立圏
  - ②県境を越えた連携
  - ③地域運営協議会

### 基本目標4 いつまでも 住み続けたい ふるさとづくり

#### 【基本的方向】

生活環境整備や地域内外の連携を深めることで、安心安全で住みよいまちづくりを進める

#### 【数値目標】

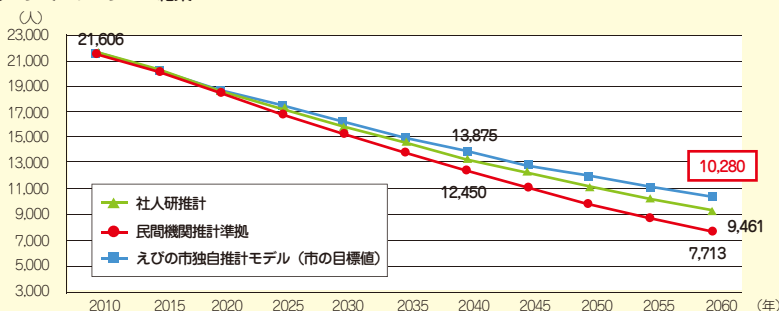
| 指標              | 基準値        | 目標値        |
|-----------------|------------|------------|
| 住みよいまちだと思ふ市民の割合 | 81.2%(H23) | 90.0%(H31) |

#### 【施策方針】

- 生活環境整備を通じ、住みよいまちづくりを進める
  - ▶ 生活環境の整備
- 地域コミュニティ等を強化し、地域の絆を深める
  - ▶ 地域コミュニティ等の強化
- 高齢者等の生きがいづくりを行い、住み続けたいまちづくりを進める
  - ▶ 健康長寿社会の実現
- 防災力を高め、安心安全な住みよいまちづくりを進める
  - ▶ 防災力の向上
- 他地域との広域連携を推進する
  - ▶ 広域連携の推進

## 人口ビジョン：②人口の将来推計・目標

■ 人口推移 シミュレーション結果



- ・市の独自推計モデル(目標) 仮定値
- 合計特殊出生率 2.07
- 39歳以下の市外への人口移動抑制 30%

**2060年人口目標**  
**10,000人超を維持**  
**(10,280人)**

# 基本目標

本計画では「産業づくり」、「人づくり」、「健康のまちづくり」、「協働と福祉のまちづくり」、「生活環境づくり」の5つの基本目標をたて、施策を展開していきます。

## 基本目標

### 1

## 新たな活力を生む“産業づくり”

産業の振興・都市基盤の整備



### えびの市の“産業づくり”の現状は？

えびの市では、基幹産業の農業、畜産業を中心に企業立地にも力を入れながら産業の振興を図ってきました。道の駅えびのが平成 25 年度にオープンし、多くの来場者が訪れています。また、えびの産米が平成 27 年産米の食味ランキングで県内初の「特A」を獲得しました。さらなる観光振興に取り組むため、観光客のニーズに応じたプランやメニュー開発などが必要になっています。

社会基盤としての道路網や情報通信基盤の整備が必要です。



### 今後、何に取り組むの？



#### ① 地域資源を生かした産業の振興

- ・ 農業の振興
- ・ 畜産の振興
- ・ 林業の振興
- ・ 商工業の振興
- ・ 企業立地施策の推進
- ・ 観光の振興

#### ② まちの活力につながる環境づくり

- ・ 計画的な土地利用の推進
- ・ 道路の整備
- ・ 地域情報化の推進
- ・ 基地対策の推進



### これがえびの市の未来の姿！

- 消費者が安心できる農林畜産物を生産し、購入者が増えています。
- 6次産業化や農林畜産物のブランド化に取り組み、安定した農業経営ができています。
- 企業立地の増加や新規創業による新たな雇用が生まれて、若者の流出が減少し、U・I・Jターンにより定住人口が増加しています。
- 豊かな自然など、えびの市が持つ特性を生かした観光メニューや観光コースを開発し、観光客でにぎわうまちになっています。
- 市街地と自然が調和され、美しい景観が残るまちになっています。
- 幹線道路が維持・整備され、快適な交通アクセスが可能になっています。
- 市民が情報通信技術を最大限に活用できるようになっています。



## 基本 目標 2

# 志と郷土愛を持つ“人づくり”

教育・文化・スポーツの振興



## えびの市の“人づくり”の現状は？

えびの市では、郷土愛を高めるために学校教育、生涯学習、スポーツ、人権、文化芸術活動等の推進を通じて、地域に貢献する人材の育成を行ってきました。学校においては、児童・生徒数が少なくなっています。高齢化が進む中、身近な生涯学習の場である自治会活動は重要となっています。スポーツ人口のさらなる拡大に向けて、幅広い年齢層が楽しめる環境づくりが必要となっています。文化・芸術では、郷土の文化を保存・継承するために、市民が文化や芸術にふれる機会をつくる必要があります。

人権全般の理解や認識を深め、差別のない地域社会をつくることが重要です。



## 今後、何に取り組むの？



### ① 郷土を担う人材の育成

- ・ 学校教育の充実
- ・ 青少年の健全育成
- ・ 生涯学習の促進
- ・ スポーツの振興
- ・ 人権意識の高揚

### ② 郷土文化の継承と新しい文化の創造

- ・ 文化芸術活動の促進
- ・ 国際交流の充実



## コレがえびの市の未来の姿！



- 子どもたち一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな教育が行われています。
- 子どもたちが笑顔で毎日を過ごせるよう、地域ぐるみで見守っています。
- 市民が生涯にわたって気軽に学べる環境が整っています。
- 幅広い年齢層の市民が、スポーツに親しめる環境が整っています。
- 市内で競技スポーツやスポーツ合宿が盛んに行われています。
- 市民一人ひとりがお互いの人権を尊重し、支え合いながら共に暮らせるまちとなっています。
- えびのの歴史・文化遺産が継承、保存され、市民が郷土の伝統や文化に愛着を持っています。
- 市民の国際交流への関心が高まり、異文化交流が行われています。

## 基本目標 3

# 誰もが元気 “健康のまちづくり”

保健・医療の充実



## えびの市の “健康のまちづくり” の現状は？

えびの市では、生活習慣病やがんの予防・早期発見・早期治療のために、特定健診、各種健康診査や各種がん検診を行っています。しかし、どの健（検）診も受診率が極めて低い状況にあります。がんの早期発見、生活習慣病の予防や重症化予防のためにも各種健（検）診の受診が重要であることを市民一人ひとりが意識していくことが大切です。市民の健康に関する関心が高まっている中で、市民が主体となった健康づくり活動が重要となっています。また、医師の確保や市内の医療機関との連携を図り、地域医療体制の維持・整備が必要となっています。

## 今後、何に取り組むの？



### ① 健康の保持・増進

- ・健康づくりの推進
- ・地域医療体制の整備



## コレがえびの市の未来の姿！

- 健康意識が高まり、市民全員が健康づくりに取り組んでいます。
- 各地域において、市民主体による健康づくり活動が進められています。
- 心身ともに健康な市民が増加しています。
- 住み慣れた地域で安心して医療が受けられる地域医療体制が整っています。



Memo

---

---

---

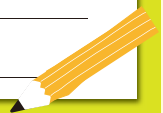
---

---

---

---

---





# 基本 目標 4

## みんなのかおが見える“協働と福祉のまちづくり”

住民自治・福祉の充実



### えびの市の“協働と福祉のまちづくり”の現状は？

えびの市では、「えびの市自治基本条例」を制定し、市民と行政との協働によるまちづくりを推進しています。市民活動を促進するために、平成 25 年度にえびの市市民活動支援センターを設置しました。市政への市民参画としてパブリックコメントや市民提案制度を取り入れていますが、引き続き、充実させていくことが必要になっています。平成 22 年に「えびの市男女共同参画推進条例」を施行し、男女共同参画社会への理解と意識を高める取り組みを行っています。住み慣れた地域で安心して暮らせるよう子育て、高齢者、障害者福祉のサービスの充実に取り組んでいます。また、安全・安心なえびの市をつくるために、交通安全、防犯・防災対策が重要となっています。



### 今後、何に取り組むの？



#### ① 市民参加・協働のまちづくり促進

- ・市民協働によるまちづくり
- ・市民参画による行政の推進
- ・男女共同参画の推進
- ・情報共有化の推進

#### ② かおの見える福祉の充実

- ・地域福祉の推進
- ・子育てしやすい環境づくり
- ・高齢者が安心して暮らせる環境づくり
- ・障害のある人が安心して暮らせる環境づくり

#### ③ 安心して暮らせるまちづくり

- ・日常生活における安全の確保
- ・防災対策の充実・強化
- ・社会保障の確保



### これがえびの市の未来の姿！

- 市民と行政が相互理解のもと、協働によるまちづくりに取り組んでいます。
- 住民自治の意識が向上し、地域住民の活動が活発に行われています。
- 市政に対して、だれでも意見や提案が行える環境になっています。
- 男女が互いに人権を尊重し、個性と能力を発揮できるまちになっています。
- 市民が、市政やまちづくりの情報を得ることができる環境になっています。
- 住民同士が互いに助け合い、支え合う関係づくりができています。
- 育児や子育てへの不安がなく、子どもを安心して育てることができる環境になっています。
- 高齢者が住み慣れた地域で、生きがいを持って暮らせるまちになっています。
- 障害のある人の自立と社会参加を支援し、障害の有無にかかわらず、互いに人格や個性を尊重する共生社会になっています。
- 事故や犯罪の少ないまちになっています。
- 災害時に、地域が主体となった活動が行える防災体制が整っています。



# 基本目標 5

## 自然と調和した住みよい“生活環境づくり” 自然環境の保全・生活環境の整備

生活環境



### えびの市の“生活環境づくり”の現状は？

えびの市は、えびの高原や川内川をはじめ豊かな自然環境に恵まれており、今後も環境の保全が求められています。市民が暮らしやすい生活環境をつくるために、安定した水の供給、公園環境、住宅環境、公共交通の充実に取り組んでいます。また、移住・定住を推進するために、空き家バンク、移住相談会や移住体験ツアーなどに取り組んでいます。今後もえびの市の魅力を市内外に積極的に情報発信することが重要になっています。



### 今後、何に取り組むの？



#### ① 調和のとれた美しい景観の保全

- ・自然環境の保全
- ・景観形成の推進
- ・河川汚濁処理対策の推進
- ・資源循環型社会の推進

#### ② 住みよい生活環境の確保

- ・安全でおいしい水の安定的な供給の確保
- ・市民の憩いの場の整備
- ・住宅対策の推進
- ・移住・定住の促進
- ・公共交通手段の確保



### コレがえびの市の未来の姿！

- 緑豊かな山やきれいな水が流れる河川など自然環境が保全されています。
- 街並みや景観などが美しいと感じるまちになっています。
- 市民一人ひとりがごみの分別やリサイクル、減量化に取り組んでいます。
- 憩いの場として、自然を利用した公園を活用しています。
- えびの市の魅力を市民全体で共有し、キャッチコピーやPR動画等を活用して積極的に情報発信することにより、全国にえびの市の認知度が高まっています。
- 誰もが利用しやすい地域公共交通網が構築されています。



Memo

---

---

---

---





## えびの市の“計画の実現”の現状は？

えびの市では、総合計画に基づき、各政策分野・施策分野ごとに具体的な施策や事業の方向性を定めた個別計画を策定し、まちづくりを進めています。まちづくりを進めるにあたって、すべての計画が同じ目標を共有し、連携しながら、進めていくことが重要です。また、毎年度、行政評価を行い、市の取り組みを検証し、予算編成や取り組みの見直しを行っています。今後も厳しい財政運営が続くため、将来を見据えた安定的な財政運営を行っていくことが課題となっています。さらに、小林市・高原町との圏域での連携を進めることで、移住・交流人口の拡大に取り組む必要があります。

## 今後、何に取り組むの？



- ・計画的な行政運営
- ・行財政改革の推進
- ・広域行政の推進



## 計画実現にむけて、取り組みます！

- 各種計画や施策の整合性を保ち、計画的な行政運営を行っています。
- 総合計画において、目標指標（数値目標）等の進行管理を行っています。
- 社会環境の変化に対応した、「真の住民自治」を目指す市役所になっています。
- 事業の選択と集中、事業手法の改善などにより行政運営の効率化やコスト削減などに努め、また、自主財源の確保など中長期展望にたった財政計画により持続可能な健全な財政運営を行っています。
- 広域的な連携を行い、事務の効率化と公共サービスの維持・向上に取り組んでいます。
- にしろ定住自立圏域内の地域資源を生かし、都市からの移住・交流人口の増加を図ります。

Memo

---



---



---



---



# 目標指標をみんな確認してみよう！

(数値目標)



※ここに掲載しているものは、第5次総合計画後期基本計画で設定した目標指標（数値目標）の一部です。

## 基本目標 1 新たな活力を生む“産業づくり”

| 指標名                         | H27<br>(現状値)                  | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33<br>(目標値)   |
|-----------------------------|-------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|----------------|
| 認定農業者数                      | 321 経営体                       |     |     |     |     |     | 320 経営体        |
| 新規就農者数                      | 4人/年                          |     |     |     |     |     | 7人/年           |
| 道の駅来場者数                     | 617千人/年                       |     |     |     |     |     | 800千人/年        |
| 道の駅売上額                      | 455百万円/年                      |     |     |     |     |     | 600百万円/年       |
| 6次産業化の取組事例数                 | 4件                            |     |     |     |     |     | 10件            |
| 農家民泊受入農家数                   | 20軒                           |     |     |     |     |     | 30軒            |
| 肉用牛の粗生産額                    | 11,839,777千円/年                |     |     |     |     |     | 14,000,000千円/年 |
| 酪農の粗生産額                     | 508,599千円/年                   |     |     |     |     |     | 466,700千円/年    |
| 中小家畜（豚・鶏）の粗生産額              | 7,025,984千円/年                 |     |     |     |     |     | 7,100,000千円/年  |
| 間伐実施面積                      | 101ha/年                       |     |     |     |     |     | 90ha/年         |
| 森林ボランティア活動人数                | 218人/年                        |     |     |     |     |     | 250人/年         |
| 林道など路網の開設延長                 | 3,750m/年                      |     |     |     |     |     | 2,000m/年       |
| 植栽の推進                       | 8ha/年                         |     |     |     |     |     | 16ha/年         |
| 新規林業就業者数                    | 2人                            |     |     |     |     |     | 10人            |
| 商工会会員数                      | 594名                          |     |     |     |     |     | 600名           |
| 創業数                         | —                             |     |     |     |     |     | 10件            |
| 企業立地件数                      | 7社                            |     |     |     |     |     | 10件            |
| 立地企業による新規雇用者数               | 88人                           |     |     |     |     |     | 250人           |
| 就職説明会参加者数                   | 21人/年                         |     |     |     |     |     | 40人/年          |
| 市内高校新卒者の就職人数                | 5人/年                          |     |     |     |     |     | 10人/年          |
| U・Iターン者が就労しやすいまちだと思う市民の割合   | 4.6%<br>[平成28年10月<br>市民意識調査]  |     |     |     |     |     | 30.0%          |
| スポーツ合宿の補助団体数                | 75団体/年                        |     |     |     |     |     | 100団体/年        |
| 特定地域への入込客数（えびの高原・京町温泉・白鳥温泉） | 1,040,000人/年<br>[平成27年]       |     |     |     |     |     | 1,300,000人/年   |
| 地域の観光資源を生かしていると思う市民の割合      | 7.6%<br>[平成28年10月<br>市民意識調査]  |     |     |     |     |     | 30.0%          |
| 地籍調査進捗率                     | 57.0%                         |     |     |     |     |     | 60.0%          |
| 国道・県道・市道は利用しやすいと思う市民の割合     | 47.6%<br>[平成28年10月<br>市民意識調査] |     |     |     |     |     | 60.0%          |

## 基本目標 2 志と郷土愛を持つ“人づくり”

| 指標名              | H27<br>(現状値)           | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33<br>(目標値)             |
|------------------|------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|--------------------------|
| 学校が楽しいと感じる子どもの割合 | 小学校 79.3%<br>中学校 83.0% |     |     |     |     |     | 小学校 100.0%<br>中学校 100.0% |

| 指標名                                    | H27<br>(現状値)                  | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33<br>(目標値)             |
|--|-------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|--------------------------|
| 地域活動への参加率                              | 小学校 76.0%<br>中学校 72.7%        |     |     |     |     |     | 小学校 100.0%<br>中学校 100.0% |
| 老朽校舎改修率（非構造部分）                         | 52.0%                         |     |     |     |     |     | 75.0%                    |
| 屋内運動場改修率                               | 73.0%                         |     |     |     |     |     | 89.0%                    |
| プール改修率                                 | 56.0%                         |     |     |     |     |     | 88.0%                    |
| 空調整備率（普通教室等）                           | 0.0%                          |     |     |     |     |     | 100.0%                   |
| 子どもの能力・適性に<br>応じた教育が行われて<br>いると思う市民の割合 | 25.4%<br>〔平成28年10月<br>市民意識調査〕 |     |     |     |     |     | 50.0%                    |
| 世代間交流体験活動事業<br>実施自治会                   | 51 自治会 / 年                    |     |     |     |     |     | 60自治会/年                  |
| 世代間交流事業数                               | 91 件 / 年                      |     |     |     |     |     | 100 件 / 年                |
| 世代を超えた地域交流が<br>行われていると思う市民<br>の割合      | 24.7%<br>〔平成28年10月<br>市民意識調査〕 |     |     |     |     |     | 35.0%                    |
| 市民図書館利用者数                              | 34,006 人 / 年                  |     |     |     |     |     | 35,000 人 / 年             |
| 出前講座開催数                                | 55 講座 / 年                     |     |     |     |     |     | 60 講座 / 年                |
| 生涯学習活動を行っている<br>市民の割合                  | 15.2%<br>〔平成28年10月<br>市民意識調査〕 |     |     |     |     |     | 20.0%                    |
| スポーツ大会等開催数                             | 17 回 / 年                      |     |     |     |     |     | 28 回 / 年                 |
| 総合型地域スポーツクラブ<br>加入数                    | 555 人                         |     |     |     |     |     | 2,100 人                  |
| スポーツ活動を行っている<br>市民の割合                  | 23.9%<br>〔平成28年10月<br>市民意識調査〕 |     |     |     |     |     | 40.0%                    |
| 人権について正しく理解<br>していると思う市民の割合            | 36.8%<br>〔平成28年10月<br>市民意識調査〕 |     |     |     |     |     | 50.0%                    |
| 市民発表事業参加人数                             | 1,340 人 / 年                   |     |     |     |     |     | 1,600 人 / 年              |
| 自主文化事業及び文化講座<br>参加者数                   | 1,037 人 / 年                   |     |     |     |     |     | 1,600 人 / 年              |
| 歴史民俗資料館入館者数                            | 7,954 人 / 年                   |     |     |     |     |     | 9,000 人 / 年              |
| 歴史や文化が継承されて<br>いると思う市民の割合              | 26.2%<br>〔平成28年10月<br>市民意識調査〕 |     |     |     |     |     | 40.0%                    |
| 国際交流事業参加者数                             | 798 人 / 年                     |     |     |     |     |     | 1,000 人 / 年              |

### 基本目標 3 誰もが元気 “健康のまちづくり”

| 指標名              | H27<br>(現状値) | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33<br>(目標値) |
|------------------|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|--------------|
| 特定健康診査受診率        | 28.4%        |     |     |     |     |     | 65.0%        |
| 胃がん検診受診率         | 5.9%         |     |     |     |     |     | 6.7%         |
| 大腸がん検診受診率        | 12.0%        |     |     |     |     |     | 16.2%        |
| 肺がん検診受診率         | 6.7%         |     |     |     |     |     | 15.7%        |
| 子宮がん検診受診率        | 17.3%        |     |     |     |     |     | 25.0%        |
| 乳がん検診受診率         | 0.8%         |     |     |     |     |     | 20.3%        |
| 3 か月児健康診査受診率     | 94.3%        |     |     |     |     |     | 100%         |
| 1 歳 6 か月児健康診査受診率 | 92.4%        |     |     |     |     |     | 100%         |
| 3 歳児健康診査受診率      | 93.0%        |     |     |     |     |     | 100%         |

| 指標名                       | H27<br>(現状値)                  | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33<br>(目標値) |
|---------------------------|-------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|--------------|
| 自分で積極的に健康づくりに取り組んでいる市民の割合 | 40.9%<br>【平成28年10月<br>市民意識調査】 |     |     |     |     |     | 45.0%        |
| 専門職就職者数（看護師）              | 1人(平成28年見込)                   |     |     |     |     |     | 40人          |
| かかりつけの医師（医療機関）を持っている市民の割合 | 66.1%<br>【平成28年10月<br>市民意識調査】 |     |     |     |     |     | 70.0%        |

## 基本目標4 みんなのかが見える“協働と福祉のまちづくり”

| 指標名                     | H27<br>(現状値)                  | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33<br>(目標値)    |
|-------------------------|-------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----------------|
| ぶらいど21助成事業活用団体会員数       | 224人/年                        |     |     |     |     |     | 300人/年          |
| 地域づくり研修会等参加者数           | 376人/年                        |     |     |     |     |     | 400人/年          |
| 地域行事・活動に参加している市民の割合     | 60.9%<br>【平成28年10月<br>市民意識調査】 |     |     |     |     |     | 70.0%           |
| 市民活動支援センター活用団体数         | 10団体                          |     |     |     |     |     | 20団体            |
| 地域おこし協力隊員受入数            | 7人                            |     |     |     |     |     | 17人             |
| ボランティア活動件数              | 1,951件                        |     |     |     |     |     | 2,000件          |
| ボランティア登録数               | 73団体<br>個人247人                |     |     |     |     |     | 80団体<br>個人270人  |
| ふだんから近所付き合いがある市民の割合     | 69.1%<br>【平成28年10月<br>市民意識調査】 |     |     |     |     |     | 80.0%           |
| 座談会等の住民参加者数（延べ）         | 163人<br>【平成28年<br>12月現在】      |     |     |     |     |     | 310人/年          |
| 男女共同参画フォーラム等参加者数        | 321人/年                        |     |     |     |     |     | 400人/年          |
| 審議会等における女性登用率           | 24.4%                         |     |     |     |     |     | 30.0%           |
| 男女共同参画が推進されていると思う市民の割合  | 16.9%<br>【平成28年10月<br>市民意識調査】 |     |     |     |     |     | 40.0%           |
| 市ホームページへのアクセス件数         | 129,370件/年                    |     |     |     |     |     | 155,000件/年      |
| 行政情報がよく伝わっていると思う市民の割合   | 32.6%<br>【平成28年10月<br>市民意識調査】 |     |     |     |     |     | 50.0%           |
| 地域支え合い事業実施自治会数          | 48自治会                         |     |     |     |     |     | 64自治会           |
| 出生数                     | 111人/年                        |     |     |     |     |     | 157人/年          |
| 待機児童数（保育所等）             | 25人/年                         |     |     |     |     |     | 0人/年            |
| 保育料無料化の多子世帯児童数          | 148人/年                        |     |     |     |     |     | 160人/年          |
| 安心して子どもを産み育てやすいと思う市民の割合 | 27.9%<br>【平成28年10月<br>市民意識調査】 |     |     |     |     |     | 50.0人/年         |
| 高齢者クラブ支援団体数・会員数         | 52クラブ<br>1,753人               |     |     |     |     |     | 55クラブ<br>1,850人 |
| 介護福祉士就職確保者数             | 0人                            |     |     |     |     |     | 40人※            |
| 百歳体操実施会場数               | 27会場                          |     |     |     |     |     | 65会場            |
| 介護予防サポーター養成数            | 180人                          |     |     |     |     |     | 480人            |
| 認知症サポーター養成数             | 962人                          |     |     |     |     |     | 1,862人          |

※介護福祉士就職確保者数…平成32年度終了予定

| 指標名                        | H27<br>(現状値)                  | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33<br>(目標値) |
|----------------------------|-------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|--------------|
| 障害のある人が安心して暮らせる環境だと思う市民の割合 | 15.2%<br>〔平成28年10月<br>市民意識調査〕 |     |     |     |     |     | 30.0%        |
| 犯罪の少ない安心できるまちと思う市民の割合      | 54.6%<br>〔平成28年10月<br>市民意識調査〕 |     |     |     |     |     | 70.0%        |
| 歩行者等にとって交通が安全と思う市民の割合      | 28.8%<br>〔平成28年10月<br>市民意識調査〕 |     |     |     |     |     | 40.0%        |
| 防災士資格取得者数                  | 11人                           |     |     |     |     |     | 65人          |
| 緊急通報サービス登録件数               | 500件                          |     |     |     |     |     | 2,000件       |
| さまざまな災害に対し安心して暮らせると思う市民の割合 | 48.3%<br>〔平成28年10月<br>市民意識調査〕 |     |     |     |     |     | 60.0%        |

## 基本目標 5 自然と調和した住みよい“生活環境づくり”

| 指標名                            | H27<br>(現状値)                  | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33<br>(目標値)          |
|--------------------------------|-------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----------------------|
| 自然環境を大切にしていると思う市民の割合           | 43.2%<br>〔平成28年10月<br>市民意識調査〕 |     |     |     |     |     | 50.0%                 |
| 生活排水処理率                        | 60.3%                         |     |     |     |     |     | 75.0%                 |
| ごみ排出量「市民1人1日あたり」               | 836g                          |     |     |     |     |     | 860g                  |
| ごみのリサイクル率                      | 13.0%                         |     |     |     |     |     | 13.0%                 |
| ごみ不法投棄件数                       | 108件/年                        |     |     |     |     |     | 95件/年                 |
| ごみ分別ができていると思う市民の割合             | 78.4%<br>〔平成28年10月<br>市民意識調査〕 |     |     |     |     |     | 80.0%                 |
| 水道普及                           | 89.7%                         |     |     |     |     |     | 93.0%                 |
| 水道水が安定的に供給されていると思う市民の割合        | 76.1%<br>〔平成28年10月<br>市民意識調査〕 |     |     |     |     |     | 83.7%                 |
| 公園・広場・遊び場について満足している市民の割合       | 20.1%<br>〔平成28年10月<br>市民意識調査〕 |     |     |     |     |     | 40.0%                 |
| 空き家バンク新規登録物件数                  | 15件                           |     |     |     |     |     | 25件/年                 |
| 現在の住まいに、今後も安心して住み続けられると思う市民の割合 | 53.7%<br>〔平成28年10月<br>市民意識調査〕 |     |     |     |     |     | 60.0%                 |
| 市の制度活用による移住世帯数                 | 16世帯                          |     |     |     |     |     | 30世帯                  |
| 定住促進住宅入居戸数                     | 42戸                           |     |     |     |     |     | 48戸                   |
| 結婚サポートセンター登録者数                 | 0人<br>〔平成27年<br>10月〕          |     |     |     |     |     | 30人                   |
| 新婚世帯家賃助成利用件数                   | —                             |     |     |     |     |     | 30件/年                 |
| ふるさと寄附件数及び金額                   | 2,704件/年<br>83百万円/年           |     |     |     |     |     | 25,000件/年<br>600百万円/年 |
| 公共交通を利用しやすいと思う市民の割合            | 12.5%<br>〔平成28年10月<br>市民意識調査〕 |     |     |     |     |     | 25.0%                 |
| 鉄道・路線バスの利用者数                   | 181,000人/年                    |     |     |     |     |     | 160,000人/年            |

まちカフェ  
一緒にやりませんか？



えびの市では、市民のみなさんと総合計画の進捗を  
一緒に確認していきます。

その場として、平成 28 年 11 月に開催した

**「えびのまちづくりカフェ」** を引き続き開催します。

市民同士の対話により、新たな発見をしてみませんか？

一人でも多くの市民のみなさんの参加をお待ちしています！



霧島山の  
めぐみめぐる  
えびの

山と水、東と西、温泉と四季のまち。

---

第 5 次えびの市総合計画  
- 後期基本計画 -

発行年月：平成 29 年 3 月

発 行：宮崎県えびの市

編 集：えびの市 企画課

---